

環境学習船 megumi に乗ってびわこの中をのぞいてみよう!!

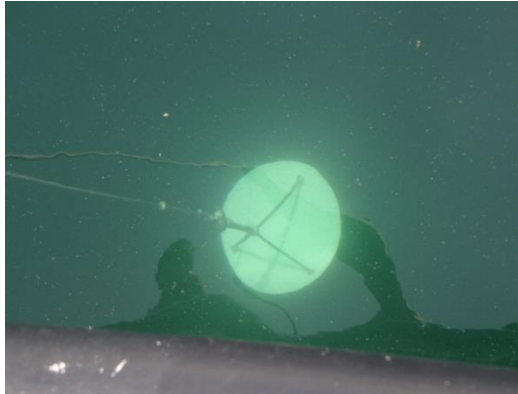
5月25日(土)、親子環境学習が開催されました。今回の参加者は小学生児童35名とその保護者29名、それに参加者のアレンジをしていただいた京都薫風ライオンズクラブの関係者23名です。その外、実験を手伝っていただく立命館大学の学生さんを含むびわ湖トラストのスタッフ等14名を加えて megumi は9時50分に快晴の下、大津港を出発しました。



最初の目的地は近江舞子です。途中オリエンテーションの後、立命館大学の熊谷先生から琵琶湖のことをいろいろ教えてもらいました。クイズやパソコンを使っの操船シミュレーションゲームもあって子供たちも楽しみました。



11時に近江舞子の桟橋に停船し湖の透明度を観察しました。直径30cmの白い円盤は水面下7m50cmの深さまで見えました。その後、立命館大学の中島先生と一緒にプランクトンの採取をしました。



次の観察は水中ロボットによる湖底の観察でした。水中ロボットが湖中に投入され、そのカメラからの画像をモニター画面に写して熊谷先生に説明して頂きました。湖の深い方から湖岸に近づくにつれ湖底の様子が変わって行くのが解りました。ブラックバスも一瞬画面を横切りました。



続いて先ほど採取したプランクトンの顕微鏡写真がモニター画面に写し出され、中島先生に解説して頂きました。いろいろな形のプランクトンが観察され、子供たちは配布されたプランクトンの説明図と対照させながら興味深く聞いていました。



12時前に近江舞子に上陸し約20分間ほど砂浜を散策、ちょっとした水遊びを楽しんで船に戻りました。その後、昼食をとって休憩している間に第二の目的地沖島に13時前に到着、上陸して島内をミニハイキングしました。沖島漁業会館でお土産を買ったり、奥津島神社の階段を上ったりした人もいました。ちょうど釣れたばかりの2kgはあるかと思われるブラックバスを見せてもらい、かわるがわる持ってみました。



沖島を13時40分に出発して最後の寄港地の柳が崎に向かいました。途中、ビデオでミクロの生態系の勉強をしたり、琵琶湖汽船の中村さんによる湖面と湖底の水温差による湖水の循環の模擬実験を見せてもらったりしました。またびわ湖トラストの高木さんからクイズが出され、正答者のじゃんけんでの賞品獲得戦で盛り上がりました。



柳が崎棧橋に15時に到着、再びプランクトンを採取して顕微鏡で観察し、午前中に近江舞子で採取したものと比べてみました。中島先生に近江舞子（北湖）では植物プランクトンばかりだったのが柳が崎（南湖）では動物プランクトンが圧倒的になったことを教えてもらいました。子供たちは顕微鏡を自分で操作して実験観察できたことがうれしかったようで終了後のアンケートでも人気No.1でした。



すべての予定された学習項目を終えて柳が崎棧橋を離れ、予定通り16時過ぎに大津港に帰港しました。子供たちにも保護者の方たちにも好評で、有意義な体験学習となったようです。下船後にみんなで記念撮影です。



最後に今回ご支援頂いた京都薫風ライオンズクラブの関係者の皆様に感謝いたします。（藤田理事 記）